

# にしお 市議会だより

西尾市のこんなことが決まりました!

～あなたの気づきが明日のNISHIOをつくる～

2021  
11 月号

No.144

【編集・発行】  
西尾市議会事務局  
〒445-8501  
愛知県西尾市寄住町下田22  
TEL:0563-56-2111(代表)



## 新体制でスタートしました。 よろしくお祈いします。

9月定例会を9月1日から29日まで29日間の会期で開催しました。

9月2日、3日、6日には、24人の議員が市政について一般質問をしました。

ここでは、内容を要約して掲載しています。

議員および執行部はマスクを着用して質問・答弁を行いました。

本会議のライブ中継を実施しています。次回の日程については、19ページをご覧ください。

表紙に掲載する写真を  
募集しています!  
詳しくは19ページを  
ご覧ください。

## CONTENTS

正・副議長就任あいさつ……01  
各委員会の委員紹介……02  
一般質問……03  
決算認定……15

審議結果……17  
編集室……18  
お知らせ……19

にしお市議会だよりは  
西尾市役所ホームページ  
でも見ることができます。



## 西尾市議会 新体制

# 西尾市議会の新体制が決まりました。

西尾市議会7月臨時会において議会人事が行われ、議長に神谷雅章氏、副議長に大河内博之氏が選出されました。

また、議会選出監査委員には、藤井基夫氏の選任が同意されたほか、委員長、副委員長をはじめとする各委員会の委員も決定しました。



●副議長  
大河内 博之



●議長  
神谷 雅章

### 「議長、副議長 就任あいさつ」

市民の皆様におかれましては、日ごろから市議会に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

私たちは、去る7月臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、議長、副議長の重職に就任いたしました。身に余る光栄に存じますとともに、職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

改選後の最初の議長、副議長として市民にも信頼されるよう開かれた議会を目指し、市政発展のため公平公正で円滑な議会運営を築くため、議員間討議を進めながら情報共有を図り、会派党代表者会議や議員全体会議・勉強会などの開催をはじめ、議会基本条例の見直しなどにも取り組んでいきます。

議員の皆さんの意見を尊重しながら連携して進めていかなければ、議会は成り立ちません。議員それぞれの担うポジションが機能することを目指し、市との情報共有もしっかりと進めながら、市民の代弁者として信頼され開かれた議会運営に努めてまいりますので、市民の皆様におかれましては市議会に対し、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。よろしくお願い申し上げます。

◎委員長 ○副委員長 敬称略

愛知県後期高齢者医療 広域連合議会	西尾市土地開発公社	会派党代表者	広報委員会	政治倫理審査会
神谷 雅章	理事 林 孝 幸 小 一 彦 黒 辺 繁 青 山 一郎 松 井 晋 一郎 永 山 英 次 牧 野 次 監 事 渡 辺 信 行	中 根 志 信 磯 部 雅 弘 松 崎 隆 治 大 塚 久 美 本 郷 田 修 前 田 一 夫 稻 垣 庄 二 神 谷 一 庄	◎ 大 河 内 博 之 ○ 山 本 道 代 杉 浦 功 記 牧 村 一 心 中 青 山 直 行 本 郷 繁 代 松 井 晋 一郎 前 田 修 人 永 山 英 人	◎ 松 崎 隆 治 ○ 中 村 直 人 福 西 章 弘 磯 部 雅 美 大 塚 久 美 本 郷 照 子 神 谷 庄 二 牧 野 次 郎



## 西尾市議会 新体制

### 議会運営委員会

所管事項 議会運営や会議規則、委員会条例および議長の  
諮問などに関する事項

◎磯部 雅弘 渡辺 信行  
○中根 志信 永山 英人  
中根 文彦 稲垣 一夫  
黒辺 一彦 神谷 庄二

オブザーバー  
牧野 次郎 大塚久美子



●議会選出監査委員  
藤井 基夫

### 企画総務委員会

所管事項 総合政策部、総務部、資産経営局、危機管理局、会計課、  
議会事務局、監査委員事務局、消防本部の所管に属する  
事項および他の常任委員会の所管に属さない事項



◎松井晋一郎 ○永山 英人 中根 志信 藤井 基夫 鈴木 正章 中村 眞一 牧野 次郎 鈴木 規子

### 厚生委員会

所管事項 健康福祉部、市民病院の所管に属する事項



◎前田 修 ○青山 繁 牧 一心 山本 道代 小林 孝幸 中村 直行 神谷 雅章 筒井 登

### 文教委員会

所管事項 子ども部、教育委員会の所管に属する事項



◎黒辺 一彦 ○犬飼 勝博 佐々木映美 中根 文彦 大河内博之 稲垣 一夫 神谷 庄二

### 経済建設委員会

所管事項 市民部、交流共創部、産業部、環境部、建設部、都市整備部、  
上下水道部の所管に属する事項



◎大塚久美子 ○松崎 隆治 杉浦 功記 福西 章人 磯部 雅弘 本郷 照代 渡辺 信行

## 一般質問 Q & A



新政令和  
鈴木 正章  
議員

### 雨水等による土砂災害の 安全対策は

**Q** 静岡県熱海市で発生した土石流災害で、国は全国で危険のある盛り土の点検を決めたが、本市の盛り土の状況はどのようか。

**A** 令和2年度までに大規模盛土造成地43か所を調査し、問題となる造成地はなかった。

**Q** 市が行っている一般廃棄物最終処分場用地の安全対策はどのようか。

**A** 関係する法律の規定に基づき、基準を満たした埋め立てを行っている。また、雨水等は浄化施設で水処理をして放流している。

### 土砂等の埋め立て等による 土壌の汚染および災害の防 止に関する条例は

**Q** 本条例制定に至った経緯と期待する効果はどのようか。

**A** 本条例は旧一色町にて養鰻池跡地への廃棄物の不法投棄抑制を狙い



詳細は  
スマホで  
チェック!



とし、平成18年4月より施行し、合併で西尾市に引き継いだ。期待効果は、廃棄物の不法投棄や土壌汚染抑制および、太陽光発電事業などに対して健全な土地の有効活用促進である。

**Q** 一色町生田地区で計画されている、産業廃棄物最終処分場の池沼・ため池は、本条例の対象か。

**A** 本条例施行規則の規定で、法律に基づく許可を受けて実施する産業廃棄物処理施設は、届け出の必要がない事業で、届け出事業に該当しない。

**Q** 本条例について、静岡県熱海市の土石流災害を教訓に見直しを行う考えはないか。

**A** 土砂等の埋め立てに起因する事故について、県において盛り土造成に関する条例の制定を検討する旨の報道があり、今後県の動向を注視していく。



自民隆盛会  
永山 英人  
議員

### 未利用市有地や公共施設 などへの太陽光発電施設 の設置は

**Q** 地球温暖化対策の一つ「再生可能エネルギーの導入」として、未利用市有地を活用して太陽光発電施設の設置を考えないか。

**A** 地球温暖化対策として、再生可能エネルギーの導入は不可欠であると考え。その手法として太陽光発電は主要なエネルギーであると認識している。西尾市が所有する未利用地において、太陽光発電に取り組むことが有効な手段であると考え。しかし、土地の面積や形状の他、周辺生活環境への配慮など、施設設置に見合った条件に適合することが求められる。今後、調査していきたい。

**Q** 西幡豆町の県所有地150畝の利活用として、太陽光発電施設の設置を県に働きかけたらどうか。

**A** 県企業庁と勉強会をし、利活用について検討している。メガソーラーについても提案した。



詳細は  
スマホで  
チェック!



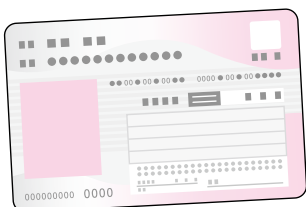
### 行政のデジタル化への推 進は

**Q** 押印廃止が進み、市や市民、事業所などにメリットや反応はあったか。

**A** 1300件余りの行政手続きにおける押印廃止を進めたことで迅速な行政手続きが可能となった。市民の反応は「押印が廃止されてよかった」といった意見が数件寄せられ、概ね良好であった。

**Q** マイナンバーカードの普及にあたっての問題や課題はどのようか。

**A** 商品券交付事業終了後、申請者の減少が予想される。国は令和5年3月までに全国民が取得することを目標としているため、新たな取り組みを検討していきたい。



## 一般質問 Q&A



公明党西尾市議団  
大塚 久美子  
議員

### LGBTの理解を深める 取り組みを

**Q** 男女の区別をしない制服の導入についてどう考えるか。

**A** 保護者の意向も踏まえつつ、校長会と協議しながら研究していく。

**Q** LGBTの相談窓口を設置しないか。

**A** ホームページに相談先を載せ、必要に応じて専用窓口も検討する。



西尾市ALLYシンボルマーク

### 子育て支援の充実を

**Q** 家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」に取り組まないか。

**A** 身近に子育ての悩みを話せる人がいない家庭に、研修を受けた地域の子育て経験のあるボランティアが訪問し、悩みを聴いたり一緒に家事や育児をしたりして、子育ての孤



詳細は  
スマホで  
チェック!



立感や不安感の軽減を図るホームスタートの取り組み開始を検討している団体もある。この取り組みに対するニーズの把握に努め、支援の方法を検討していく。

### 環境に配慮した取り組みを

**Q** 植物由来のバイオマスプラスチックを配合したごみ指定袋の導入を考えないか。

**A** 温室効果ガスの削減、石油資源の節約、市民の環境意識の向上を図るうえで有意義であるが、デメリットもあり、今後、調査・研究をしていく。

**Q** 市内のごみステーションの先進事例を紹介し、環境整備をしないか。

**A** 今年度、町内会で管理しているごみステーションの中できれいに清掃されているステーションや、きれいに保つために工夫されているステーションなどをピックアップし、広報紙や公式ラインなどで紹介していく。



新政府令和  
犬飼 勝博  
議員

### 安全・安心・快適に暮らせるまちづくりに向けて

**Q** 消費刺激策で紙のクーポン券等は作成・印刷・郵送費用等、コストが高くムダがある。今後、LINE等を活用した電子チケットを検討すべきと考えるが、どのようか。

**A** 電子チケットの市民サービスは紙の商品券に比べて、コスト面で費用対効果が高いと聞いており、LINEを始めとしたデジタル的な手法を調査研究していく。

**Q** 新型コロナウイルス感染症防止や市民の安全・安心の観点から、市役所窓口の混雑状況の「見える化」に取り組むべきと考えるが、どのようか。

**A** 現在運用している発券機の待ち人数画面を配信し混雑状況を確認するなど、他市の事例を参考に導入に向け、前向きに検討していく。

### 図書館サービスの充実に向けて

**Q** より充実した電子図書館に向け



詳細は  
スマホで  
チェック!



電子書籍のタイトル数を増やすことが必要と考えるが、どのようか。

**A** タイトル数を増やすことは、電子図書館の充実には不可欠である。選書は最新の電子図書動向を把握し、話題性の高い本や電子書籍ならではの機能が活かされる魅力ある資料を優先的に選んでいく。

### ビジネスサポートセンターの設置に向けて

**Q** 設置に向けての課題はどうか。

**A** 課題は運営方式の選定と事業者ニーズの把握。市独自や「ビジネスモデル」など、様々な運営方式があるため、どのような運営方式が最適であるのか、検討が必要である。

**Q** 課題への対応が必要と考えるがどのようか。

**A** 運営方式選定は、それぞれの運営方式の優位性を調査。事業者ニーズの把握は、情報を集約できる仕組みを構築し、令和5年度末頃の設置に向けて準備をしていく。

## 一般質問 Q&A



新政令  
本郷 照代  
議員

### 医療的ケア児受け入れ体制整備・充実を

**Q** 本市の現状と支援ニーズをどう把握しているか。

**A** 県の調査によれば、市内30人程のケア児の約7割が、たん吸引と経管栄養のケアを必要としている。介護者のレスパイト（休息）を含め、近隣の施設や事業所での受け入れ体制の整備、相談支援体制の確保、居宅介護サービスの提供などの支援が必要と考える。

**Q** 児童発達支援ニーズの増加に対し、人材や専門性の確保、対応力・運営面の課題はどのようか。

**A** 現在、計画相談件数は年に405件ほどあり、4人の相談支援専門員で対応している。支援専門員の増員や、多様化するニーズに対応可能な体制づくりが必要である。

**Q** 受入れ体制強化や障害児通所事業所を整備しないか。

**A** 事業所の意向を聞き、対象者受け入れの働きかけを行っていきたい。



詳細は  
スマホで  
チェック!



### 子宮頸がんワクチン接種対象外の人に救済措置を

**Q** 定期接種対象者への個別通知後、対象者や家族の反応はどのようか。

**A** 通知前の令和元年度の接種者は7人、通知後は2年度42人、3年度は4～6月で32人。個別通知による一定の成果があった。

**Q** 無料定期接種の情報を知らず、接種の対象年齢を外れてしまった人にも救済措置が必要ではないか。

**A** 後追い接種などの救済措置を行う予定はない。重大な健康被害が発生した場合、予防接種健康被害救済制度が適用されないためである。

**Q** 現在、国が中止している「積極的勧奨」が再開した場合、市として直ちに対応できるように体制を整えていかないか。

**A** 体制は整っており、接種対象者全員に予診票を送付する。

その他の質問

・安全な通学路のために



新政令  
松井晋一郎  
議員

### コロナ禍での各課題、支援は

**Q** 自宅療養者・宿泊療養者が増加する中、支援体制の構築はどうか。

**A** コロナのため、外出できない人に対する買い物代行について、9月から実施している。

**Q** 買い物代行の内容はどのようか。

**A** 対象は自宅待機を求められ、食料品、日用品等の調達に困っている人である。社会福祉協議会に委託し、実施している。

**Q** 事業者支援はどのようか。また、書類作成などの支援体制はどうか。

**A** 引き続き事業者ニーズを把握し、支援策を検討する。書類作成等の支援は相談窓口を設置するなど体制を考えていく。

**Q** 災害時、避難所運営での感染予防対策はどのようか。

**A** 屋内用テント、折り畳みベッド、エアーマット等を購入し、各避難所に配備を進めている。内閣府から示された避難所運営のポイントを踏ま



詳細は  
スマホで  
チェック!



### 営業騒音問題について

えてマニュアルを改訂していく。

**Q** ここ3か月ほどの苦情、問い合わせ状況はどのようか。また、調査した事例は何回か。

**A** 新たなカラオケ騒音の苦情はない。継続案件店舗の営業状況等の確認を4回実施している。

**Q** 相手側と話ができないとのことだが、この状態について、今後事実上黙認するつもりか。この間の被害について、どのように関わるつもりなのか。そもそもどのような内容について話し合いをし、どの様に解決に導くつもりか。

**A** 問題解決については、原因者に理解を求めることは重要。また、被害者に直面する苦情に者からの苦情についても、耳を傾け、解決の糸口を模索していきたい。



## 一般質問 Q & A



西尾みらい  
磯部 雅弘  
議員

### 小・中・義務教育学校の状況は(エアコン設置・学校プール・GIGAスクールを考える)

**Q** 特別教室へのエアコン設置の要望を多く聞くが、考えはいかがか。

**A** 必要性は認識している。特別教室のエアコン設置までは、責任を持って取り組んでいく。

**Q** 学校プール全体計画を策定するにあたり、財政的、効率的から考えると児童数の多い学校は移動にかかる時間、費用を鑑みると、建て替えが望ましい。そのほかは民間事業者を含めたプールで実施していくことが安全性も含め、望ましいと考える。また、今後のまちづくりを考えると、スポーツ都市宣言をしたこと、水泳が健康寿命の延伸につながることに、ホワイトウェイブ21のピーク時の利用緩和など前向きな意見の一方で、ランニングコストが固定費として重くのしかかることから慎重に考える必要があることは承知しているが、市営プール機能を持つ新しいプール



詳細は  
スマホで  
チェック!



が必要であると考えますが市長の考えはいかがか。

**A** 現状では、教育の面から高評価であり、問題も発生していないことから、民間のプールを利用する方向に移行すべきと考える。

**Q** 小・中・義務教育学校でタブレット端末を利用し始め、これからのように学習の質向上につなげていくか。

**A** 児童生徒が常にタブレット端末を手元に置き、必要に応じて活用できるようになることが大切である。ICT教育の指導事例集を作成し、資料をもとに、教員の資質向上に努め、効果的に活用することで児童生徒の学習の質の向上を目指す。

**Q** ゲームやYouTubeなど保護者から心配する声に対し、活用できる範囲を制限することも重要であるが、ずっと失敗させない環境でなく、学校は安全に失敗できる場所であってほしいと考えるがいかがか。

**A** 情報リテラシー教育の向上についても学習を進めていく。



西尾みらい  
山本 道代  
議員

### スポーツ都市宣言と健康づくり

**Q** 2021年4月11日にスポーツ都市宣言をされたが、都市宣言に至った経緯はどのようなか。

**A** スポーツ都市宣言は、西尾市合併10周年記念式典の席上で宣言した。合併後、スポーツ施設の老朽化および施設規模の数や適性など、多くの課題を抱えており、市民にとって満足いくスポーツ環境ではないと感じている。東京2020オリンピック・パラリンピック開催で市民のスポーツに対する関心の高まりを絶好の機会と捉えている。スポーツ施設の再編を目指す『スポーツまちづくりビジョン2040』の計画策定初年度、市として初のフルマラソン大会となる『にしおマラソン』を開催する合併10周年という節目の年に、将来に向けたスポーツを通じた元気なまちづくりにつなげるため、市の意気込みを含めて宣言した。

**Q** 今後どのようなイベントを考え

ているか。

**A** 本年度は市内小学生を対象に、スポーツ能力測定会を開催する。10月には包括連携を締結している、アールビーズが主催する『オクトーバー・ランアンドウォーク』に参加する。来年3月6日には、西尾市で初となるフルマラソン大会「にしおマラソン」を開催する。

**Q** 市として、スポーツを通しての健康づくりをどう考えているか。

**A** 令和2年度に実施した市政世論調査で、7割以上が健康・体力づくりのためにスポーツをしたと回答している。健康寿命の延伸に対する市民の意識が高まる中、スポーツが果たす効果は非常に高いものであると認識している。今後、スポーツ施設整備計画で策定中のスポーツまちづくりビジョンに従い、施設の充実を順次図るとともに、ソフト面として多様化するスポーツに対応するための教室や健康教室を充実させる。



詳細は  
スマホで  
チェック!



にしおマラソンロゴマーク

## 一般質問 Q&A



西尾みらい  
黒辺 一彦  
議員

**コロナ禍を乗り越える、不安を増大させない情報把握・提供の徹底を**

**Q** 国・県との連携体制の現状と課題はどのようなか。

**A** 法律（新型インフルエンザ等対策特別措置法）にのっとり連携している。課題としては、感染者の詳細な情報を要望しているものの、個人情報保護などの理由から入手できていないことである。

**Q** 西尾市の医療逼迫状況はどのようなか。

**A** 入院病床の調整は県が行っているため、市としては把握していない。

**Q** 西尾市民病院の受診患者への影響はどのようなか。

**A** 入院、外来患者ともに減少傾向がみられる。特に、外来患者は受診控えにより、重症になってから受診される傾向がある。院内感染対策は徹底されているため、気になる症状があるときは受診してほしい。

**Q** PCR検査実施について、市の考え方はどのようなか。



詳細は  
スマホで  
チェック!



**A** 濃厚接触者、感染疑いのある方へは、保健所（県）が行政検査として実施している。市独自の検査、補助については、実施する予定はない。

**Q** ワクチン不足について、市の見解と対応はどのようなか。

**A** 6月時点と比較するとワクチン量は減っているが、中止するような状況には至っていない。県によると、10月中旬までに12歳以上の対象者の8割が2回接種できるワクチン量の配分を確保すると説明があり、ワクチン不足は現時点では解消されると認識している。

**Q** 免疫力向上の対策を充実させないか。

**A** 免疫力向上は疾病予防の基本であるため、保健事業として実践、啓発を行っていく。

### その他の質問

- ・公共施設の運営の取り扱いについて
- ・ワクチン接種の安全性について
- ・市はどこまで把握しているか。
- ・同調圧力、差別的扱いへの配慮はどのようなか



無所属  
鈴木 規子  
議員

**西尾市方式PFI事業契約の見直しは**

**Q** 7月、裁判所の調停でSPCと見直し協議は不成立となったが、調停が続いている間にも、市長は、SPCの求めるまま旧一色支所の仮囲い設置費用8200万円を支払った。どう思ってしまったのか。自己総括し、反省すべきではないか。

**A** 事態改善のため自分の裁量で歩み寄れば何とか出来ると思った。

**Q** しかし、支払いを決めた次の日、SPCからは、裁判所が認めなかった費用を求める新たな訴訟を起された。どう思ったのか

**A** 出鼻をくじかれた思いがした。SPCの岩崎代表と何度もトップ会談をしたが、「遅延損害金を払ってくれない限りどうとか、このお金を払ってくれない限りは次のステージに進めない」となって結局、不毛な時間になってしまった。

**Q** SPCは「見直しには応じない。損害賠償額の算定もしない」と7月



詳細は  
スマホで  
チェック!



以降、3度の協議申入れも断ってきた。仏の顔も3度までという。もはや合意ではなく、解除通告をすべきではないのか。

**A** 市側から解除を通知する段階に進まざるを得ないと考える。

**スギ薬局との包括連携協定の見直しを**

**Q** スギ薬局との協定では高齢者等の健康講座に講師派遣を受けており、がん検診もスギ薬局で行っている。市の事業が誤解されるおそれがあるのではないか。栄養士会や薬剤師会との連携を進めた方が広範な展開が期待できないか。

**A** 現在は、高齢者の各講座についてスギ薬局から実施の回答がなく予定はしていない。がん検診は受診率向上を図ったものだが、他の企業への働きかけを検討していく。

**Q** 包括協定は特定の企業を優遇するおそれがある。見直さないか。

**A** 双方の認識の誤りで多大な迷惑をかけた。改善策を共有していく。



## 一般質問 Q&A



新政令和  
青山 繁 議員

### 新型コロナウイルス感染症への対応状況は

**Q** 高齢者を対象としたワクチン接種において、大変な混乱が発生した。なぜ、不安や多大なご迷惑をおかけするような判断をしたのか。

**A** 国からのワクチン供給量不足で2220人分の少量でスタートせざるを得なかった。優先順位の細分化は困難と考えた。結果として混乱が生じ、誠に申し訳ない。

**Q** 西尾市は、人口がほぼ同規模の刈谷市、安城市、豊川市と比較して、感染者数が多いが、どのように捉えているか。

**A** 感染状況の詳細が不明なので、分析できない。

**Q** 感染者への対応として、自宅療養、宿泊療養、入院治療に分かれるが、割合はどのようか。また、自宅療養の場合、経過観察は誰がどのように対応しているか。

**A** 県が設置主体の西尾保健所が対応しているため、市は療養者等の報告は受けておらず、割合を把握する



詳細は  
スマホで  
チェック!



ことはできない。また、自宅療養者の経過観察は、西尾保健所が電話により、毎日、健康状態の確認を行っている。

**Q** 現在の感染者情報では、性別、年齢、症状、陽性者との接触の有無を図るには、「どこでどのように感染したか」なども公開すべきと考え、現行の発表内容をどのように捉えているか。

**A** 西尾保健所から情報提供されるものが全てである。

### 「がんばろう！地元にお応援券(仮称)」の全市民への配布を

**Q** 今後、ワクチン接種が進み、新型コロナウイルス感

染症の収束を見据え、地元経済の底上げのため、市民一人ひとりが積極的に参加できるよう、全市民に配布しないか。

**A** 考えていない。



自民隆盛会  
松崎 隆治 議員

### 市長の所信表明に対し考え方を問う

**Q** アフターコロナを見据えた経済対策はどのようか。

**A** 事業者意見を踏まえて、がんばる事業者応援補助金を展開していく。

**Q** 小学生以下の子どもたちを主要対象とした屋内遊び場の整備の現時点での構想はどのようか。

**A** 天候に左右されず、いつでも親子や子ども同士で遊べる場所を設置したいと考えている。遊び場内を年齢別・機能別に分け、楽しさと安全性を確保し、ふれあいを大切に作る環境づくりを進める。

**Q** 18歳到達年度までの入院医療費助成の拡大をいつまでに行うのか。

**A** 令和4年4月から実施できるよう進めていく。

**Q** 遅れがちになっている雨水排水対策をどのように進めていくのか。

**A** 雨水排水整備、雨水貯留浸透施設および調整池の設置による浸水対策をこれまで以上に効率的・効果的に行うために、しっかり予算化し計



詳細は  
スマホで  
チェック!



画的に進めていく。  
**Q** 市民病院の経営改善を図る上で、医師は増加傾向にはあるがまだ不足している。先を見据えた一手をどのような考えで打っていくのか。

**A** 脳神経外科と神経内科に若い優秀な医師が派遣され、脳卒中の救急対応ができるようになった。少しずつだが、欠けていた医療が提供できるようになってきた。派遣要請を行うつつ、専門的な知見を持った人材の活用を検討していく。

**Q** まちづくりのために第8次総合計画策定をどのように進めるのか。

**A** インフラ整備や駅前整備など先を見据えた施策を盛り込んでいく。

**Q** 今後、スポーツまちづくりビジョン2040を策定していく中で、早急なハード面の整備が待ち望まれるが、どのように考えているか。

**A** 目玉となる施設をなるべく早い時期かつ計画的に整備していく。

### その他の質問

- ・企業誘致の今後の課題について
- ・人件費2割削減の考え方

## 一般質問 Q&A



新政令和  
中村 直行  
議員

### コロナ禍における市民安全・安心の確保と経済の活性化を

**Q** 学校や福祉施設（高齢者施設・障害者施設）等に抗原検査キットを配布して感染拡大を防止しないか。

**A** 福祉施設のうち入所施設は、職員からの感染を防止するため、症状が現れた場合に検査ができるよう、国が希望施設に対して抗原検査キットを配布している。活用方法については検討していきたい。

**Q** 空き店舗所有者へ改修費の補助や貸し付けを行い、商業施設として有効活用し、商店街の活性化につなげないか。

**A** 空き店舗所有者に対しては、市街地の活性化推進を目的として空き店舗の活用に対する補助制度を設けている。

**Q** 経済対策として、キッチンカーの導入支援事業を展開し、本市の飲食業の活性化を図らないか。

**A** キッチンカーの導入支援については考えていないが、キッチンカー



詳細は  
スマホで  
チェック!



の購入費については「がんばる事業者応援補助金」を活用してほしい。

**Q** 西尾駅の高架下の駐車スペースに商業集積ゾーンとして賑わいを取り戻さないか。

**A** 名鉄西尾駅周辺の高架下については、現在貸し駐車場として運営会社が活用しており、これ以外の計画は考えていない。

### 将来を見据えた福地地区活性化に向けて

**Q** 西尾市都市計画マスタープランで位置付けられた憩いの農園の具体的な内容はどのようなか。

**A** 第1期工事として、地元の野菜や果物、切り花などを販売する「ファーマーズマーケット」の建設を来年春季に完了と聞いている。

### その他の質問

- ・クラスターで陽性者が出た事業所（会社）に抗原検査キットを無料で配布しないか。
- ・市道須脇15号線1の整備の進捗状況について。



新しい風  
小林 孝幸  
議員

### 市民サービスコーナーの設置を

**Q** 市役所では、土曜開庁をしているが利用状況はどのようなか。

**A** 令和2年度は、53日間開庁し、2641人の利用があった。午前9時から正午まで、職員3人で対応している。

**Q** 岡崎市や東浦町では、ショッピングモールに市民サービスコーナーを設置しているが、市内のショッピングセンターなどに設置する予定はあるか。

**A** 市民サービスコーナーを設置すれば市役所、支所に続いて市民の利便性が向上するメリットがある。他市の事例などを参考に総合的に検討する必要があると考えられている。



詳細は  
スマホで  
チェック!



### 吉良・幡豆地区における高齢者等の移動手段の確保を

**Q** 吉良・幡豆地区で移動手段のない高齢者等に対し、どのように考えているか。

**A** 日常の買い物や病院への通院などは「いこまいかー」を、広域の移動については名鉄西尾・蒲郡線を利用してほしい。

**Q** 「いこまいかー」は、自宅と各小学校区の決められた目的地にしか行けず、地域住民の希望する行き先と異なる場合があると思うが、どのように考えているか。

**A** 原則は公共交通であり、全ての希望に沿うことができないことはやむを得ないと考えている。10月には、利用者からの要望に基づき、目的地を一部拡大することが決まっている。



## 一般質問 Q &amp; A



無所属  
佐々木 映美  
議員

### 子ども・若者総合相談センター「コンパス」の進捗状況は

**Q** 今年6月1日より開設された、子ども・若者総合相談センター「コンパス」の活動目的はどのようなか。

**A** ひきこもり、ニートや不登校など、様々な悩みを抱える子ども・若者とその保護者などからの相談を受けた。修学、就職または生活にかかわる包括的な支援をワンストップで行い、関係機関との連携体制を有効に活用して、子ども・若者が抱える困難の解消と社会的自立に繋げていくことを目的としている。

### 小・中・義務教育の不登校対策について

**Q** 不登校の児童・生徒たちは適応指導教室あゆみ学級での対応となっているが成果や課題はどのようなか。

**A** 令和2年度の成果としては小学生1人、中学生7人が学校へ復帰することができた。課題としては不登



詳細は  
スマホで  
チェック!



校の児童・生徒および保護者にあゆみ学級を紹介しても、まだまだその存在や価値を理解されず希望者が少ないことである。

### 妊活について

**Q** 妊活相談事業に特化した相談窓口を開設しないか。

**A** 不妊、不育に関する相談は、個々の身体状況を把握し、専門的な知識が必要のため、市独自で相談窓口を開設することは困難である。

### 都市公園について

**Q** 西尾市は他市に比べて住民1人当たりの敷地面積が狭いが、明確な理由はどのようなか。

**A** 明確な理由は無い。今年度から2か年で公園整備などの中長期的な計画となる「西尾市緑の基本計画」を策定している、現状を踏まえ少しでも増加するように努めていく。



新しい風  
中根 文彦  
議員

### 小学校部活動の今後のありかたは

**Q** 働き方改革を受け、部活動の縮減内容を保護者にどのように説明しているか。

**A** 校長会が中心となって、令和3年度よりシーズン制を導入する旨をPTA役員会、代議員会等で説明した。コロナ禍でPTA総会が開催できなかったため、文書で保護者に周知した。

**Q** 部活動の役割をどのように考えているか。

**A** 部活動には、児童同士や児童と教師の人間関係の構築を図り、自己肯定感や責任感など多様な学びの場として教育的意義があると捉える。

**Q** 「地域部活動」とは具体的にどのようなものか。

**A** 土曜日、日曜日の部活動指導や大会の引率について、学校の職務として教師が担うのではなく、地域の活動として地域の人材が担うもの。剣道のような後援会組織は学校管理



詳細は  
スマホで  
チェック!



外で行う活動となるため、地域部活動としての扱いになる。

### 名鉄西尾線の矢作川鉄橋の安全性は

**Q** 矢作川鉄橋が使用できなくなるような災害発生時に、名鉄との連携はどうか。

**A** 災害対策本部が名鉄と直接連絡が取れる移動系無線機を西尾駅に設置しており、2か月に1回通信訓練をしている。業務継続計画に名鉄をはじめとした交通事業者と情報共有するよう定めている。

**Q** 鉄橋は昭和3年に建造され93年になるが、安全性・信頼性についてどう考えているか。

**A** 2年に1回定期的な検査をし、構造物の健全性が保たれていることを確認している。橋桁は、適切な時期に塗装の塗り替えをして、耐久性を確保している。耐震については、国の指導のもと優先順位を踏まえ、対策を実施している。

## 一般質問 Q & A



無所属  
杉浦 功記

議員



詳細は  
スマホで  
チェック!



### PFI問題の早期解決に向けて

**Q** 損害賠償金額は、実際に支払いが発生した実損額、業者が将来得る予定だった逸失利益の合計でよいか。

**A** そのように認識している。

**Q** 逸失利益の算定はどのようか。

**A** SPCとの今後の交渉に支障があるので計算式の明示は控える。

**Q** 内閣府は任意解除の逸失利益に関して「補償は残存契約期間全てではなく範囲は限定されるべき」との見解である。本件も契約期間全てではなく期間を限定すべきと考えるが。

**A** そのように考えている。

**Q** 一色町体育館改修に対する、サービスタクはいくらか。

**A** 税込5億8533万2千円。

**Q** 一色町体育館改修に対する、市の積算金額(妥当額)はいくらか。

**A** 税込5億9153万3千円。

**Q** 削減率は約1%、工事費や開発経費に限れば削減率0.0003%。競争入札をした場合や、契約時に予

定された8.3%の財政削減率よりも大きく劣り、PFIによる削減効果は無かったと考えるが。

**A** 契約時の財政負担削減率と比較すると削減効果は少ない。

**Q** 一色3施設(公民館など)運営における光熱水費で、実際にかかった分、SPCに支払った分はいくらか。

**A** 平成30年度から令和2年度までの合計額は、実際には3704万2千円、SPCには7553万7千円支払った。

**Q** 差額分の返還交渉はしたのか。

**A** 返還された事例はない。

### 旧一色支所の有効活用 (一色町役場リバイバル)に向けて

**Q** 「居場所」として活用を望む声が多い。貸し出しも検討しないか。

**A** 公共施設なので安全性が担保できるか、どれだけ費用がかかるか、心情に流されず冷静な判断が必要である。その前提がある中で、現実的な選択肢があれば検討したい。



新しい風  
福西 章人

議員



詳細は  
スマホで  
チェック!



### 西尾駅東駅前広場におけるにぎわいの創出を

**Q** より多くの人に、広場を利用してもらうための取り組みはあるか。

**A** 公園の利用方法などについては市のホームページにより周知しているが、今後は広報にしようやAIチャットボットなどによる周知にも努めていく。

**Q** 新設される「おいでつき」には外国の方や障害のある方など全ての方が快適に利用できるインクルーシブ(包括的)な取り組みはあるか。

**A** 現在、おいでつき家具を製作中であり、車いすの方でも使用しやすいものを取り入れる予定。また案内看板などは、どなたでも分かりやすいマークや配色を採用するなどインクルーシブな社会の実現に配慮したものを考えていく。



### 排水機場の整備は

**Q** 排水機場の整備計画はどのようになっているか。

**A** ポンプ類や電気設備の整備については、設置されてから20年を目安にオーバーホールなどの保全対策を行っている。排水機場の更新については概ね40年を目安とし、更新時点の流出量に見合った排水能力にすることはもとより、維持管理費の軽減を見据え、排水機場の統廃合もしている。

**Q** 近年の気候変動や企業進出の影響に対し、今後の取り組みはどのように考えているか。

**A** 本市の排水機場は、農地を湛水被害から守るための施設である。企業進出が進むなど、市街化が著しい地域においては、気候変動を勘案しつつ、より排水能力の整備水準が高い雨水排水対策事業との調整を図っていく。

## 一般質問 Q&A



無所属  
中村 眞一  
議員

### 投げ出されたPFI事業 見直しは

**Q** 特定事業契約書第15条第3項による契約内容の一方的な変更について、調停委員から見解等は示されなかったのか。

**A** 市に対して調停委員から見解等が示されたことはない。

**Q** 調停委員より「調停を不成立とする」旨の打診はいつが最初か。

**A** 4月頃だったと認識している。

**Q** 特定事業契約書第15条第3項の変更通知で、事業そのものを一方的に変えられると考えているのか。

**A** そのように考えている。

**Q** 市は、内閣府のPPP・PFI推進室のワンストップ窓口に見解の確認の問い合わせをしたか。

**A** 問い合わせはしていない。

**Q** 訴訟となった場合、これまでと同じ弁護士に同じ規定で着手金や報酬を支払うのか。



詳細は  
スマホで  
チェック!



**A** 引き続きお願いすることが適切であると考えている。なお、訴訟となった場合に関しては、仮定の話であり、現時点では答えられない。

**Q** 旧日弁連の報酬規程は、訴訟額が3億円を超える場合2%だが、総額が10億円ならば2千万円、50億円ならば1億円が弁護士へ着手金だけで税金から支払われることになる。

**A** 増加費用訴訟でも敗訴し、事業者との協議もまとめられなかった代理人に対し、新たな訴訟等を依頼する際  
には、着手金は支払わず、成果報酬にて支払額を決定するといった交渉をしないか。

**A** 具体性のないことですので、答  
弁できない。

**Q** きら市民交流センターの料理実習室をはじめ、稼働率の低い施設であれば、資産経営局のほうで、ストップをかけるべきではないか。

**A** 利用団体から、必要だという要望があった。



日本共産党西尾市議団  
前田 修  
議員

### PFI事業の問題点へ

**Q** 「SPCと事業を継続していくことは難しい」と発言しているが、具体的にどのようなことがあったのか。

**A** 吉良支所棟の運営や備品調達  
の協議も、長引くばかりであった。最終的な合意までに何年かかるか分からないため、協議を続けていくことは難しいと感じた。

**Q** 市との協議の中で、SPC側から「市長には、次の選挙で死んで（落選して）もらえばいい」などの発言があったと聞かすが、事実か。契約相手として不適切と思うがどうか。

**A** 発注者に対する姿勢が端的に表れている発言で、非常に残念であり腹立たしく思った。

**Q** PFI事業の契約は、請負と委任契約の複合的な形態とのことだが、その根拠は何か。見解や判例な



詳細は  
スマホで  
チェック!



どで明確になっているのか。

**A** 根拠までは分からない。弁護団に確認したい。

**Q** 市が行おうとしている「契約解除」は、ベストな選択と考えての事か。

**A** 契約形態に即した法的根拠を持って契約解除をすすめる。その際、15条3項に反しているという見解もふまえ解除を進めていく。

**Q** 見直し方針で中止した事業は、SPCと開発企業との売買契約がされておらず、建設業者も損害は発生していない。SPCはペーパーカンパニーで、直接利益をあげる企業ではない。結果、実損も逸失利益も大きな損害賠償額にならないのはいか。

**A** 開発委託契約はされているが、賠償額については把握していない。

## 一般質問 Q & A



新しい風  
牧 一心  
議員

### 隠れた地域資源の有効活用を

**Q** コロナ感染症拡大で落ち込んだ観光業が立ち直るための戦略を検討していかないか。

**A** 本市には抹茶やうなぎなど「食」を求めて来訪する方が多い。平成28年度より常滑・半田・碧南・西尾の4市で「電の子街道」と称して醸造・和文化をテーマに誘客を図っている。今後も強い連携を取っていく。

**Q** 観光産業の企業誘致を考えているかないか。

**A** 本市の観光資源は未来の可能性を広げる重要なファクターである。市内外に広くPRをして、事業者の投資先として選べるようにしていきたい。

**Q** 地域資源を生かした着地型観光商品の検討をしないか。

**A** 現在、前島で海の生き物探しや、愛知こどもの国でキャンプを行う「東幡豆海山の冒険プログラム」を



詳細は  
スマホで  
チェック!



予定している。今後も更なるプランの検討をしていく。

### 自覚のない被害者、ヤングケアラ―支援は

**Q** ヤングケアラ―の実態調査は行われているか。

**A** 県が11〜12月に調査を行い、支援策を検討している。本市でも福祉と教育部局で連携して、サポート体制構築のために研修を含め検討する。また、校長会議で指導を行い、アンケートおよび教育相談の中でヤングケアラ―という視点に留意し認知度を高めていく。

**Q** 外国人家庭では両親共働きが多い。兄妹の世話をするために不登校になってしまう事例を聞く。対応策はあるか。

**A** 教育および福祉の現場職員は日々の変化に気づきやすい立場にある。こうした職員が問題の早期発見や柔軟な支援を行えるように研究していく。



新しい風  
中根 志信  
議員

### 地域コミュニティ力の再構築は

**Q** 地域コミュニティ力の再構築に取り組み組織、活動拠点となる施設をどう考えているのか。

**A** 組織はすでに活動している小学校区単位のコミュニティ推進協議会、拠点となる施設は地区集会施設または各ふれあいセンターなどの公共施設が適当と考えている。

**Q** 小学校区をモデル地区にして、地域コミュニティ力を再構築する計画策定に対して補助を考えないのか。

**A** 計画策定は一定の条件を満たすことで、本年度改定した校区コミュニティ活動費補助金の特別加算枠の対象となる。単年度の補助限度額は20万円である。

### 西尾市方式PFI事業の検証と現状の早期解決を

**Q** 市議時代に契約議案に反対した



詳細は  
スマホで  
チェック!



中村市長は今、解除条項の無い事業契約書をどう思っているのか。

**A** 解除条項があれば、見直し手段の選択肢は増えていたと思う。最長の30年の長期契約を考えると、解除条項は入れておくべきだった。

**Q** 契約解除への協議を拒み続けているSPCの態度について、中村市長はどう思っているのか。

**A** 先の選挙で民意が示された今、事業契約者（SPC）は市民の求めにどう向き合おうべきか、賢明な判断を強く望みたい。

**Q** 契約解除の実現へ向け、SPCが協議に応じないことが予想されるが、どう対応していくのか。

**A** いたずらに時間が経過することは、市やSPCにとっても、何よりも市民にとっても良い状況ではない。現在の状況が続くようであれば、市から解除することも検討せざるを得ないと考えている。契約解除という方針をぶれることなく堅持し、年度末までに一定の結論が得られるよう最善を尽くしていく。

## 一般質問 Q &amp; A



西尾みらい  
藤井 基夫  
議員

### 一色町生田地区における産業廃棄物最終処分場の経緯と現況は

**Q** 過去に産廃業者と西尾市との間で、情報交換会・勉強会などが開催されたが、これらの協議の中で、産廃業者最終処分場建設を約束するような決行は行われたか。

**A** 平成24年度から25年度までに計10回の情報交換会が実施され、平成26年1月を最後に、その後は開催されていない。それらの協議の中で、新たな処分場建設を進めるための決行は行っていない。

**Q** 神原前市長と神谷元副市長の議会での発言はどのようか。

**A** 神原前市長は「跡地に異変があれば直ちに愛知県と連携して行政代執行も視野に入れ、必ずきれいにする決意である。このことで新しい産業廃棄物最終処分場を建設する必要はない」と答弁している。神谷元副市長は「西尾市はゴーサインを出しているわけではない、こういう提案があったという認識だ」と答弁して



詳細は  
スマホで  
チェック!



いる。

**Q** 西尾市が産廃問題に関して委員会や研究会を組織したが、それらの結論、方向性はどのようか。

**A** 「一色地区産廃跡地問題地域会議」では、環境監視の継続と調査内容の見直し、また調査結果を協議する組織の立ち上げを提言し、「産廃処理施設建設計画影響調査研究会」では、一色町生田竹生新田地区における産業廃棄物処理施設の建設は、多方面にわたって悪影響を及ぼすことから、産廃処理施設の建設は回避されることが望ましいと報告された。

**Q** 最近の業者の動きはどのようか。

**A** 6月末に跡地の対応について協議したいと話があり、7月には市長との会談の要望書が送付された。さらに関係団体にも訪問したと聞いている。

**Q** 業者との協議の必要性は。

**A** 建設計画に対しての協議を行わない。跡地問題に対しては県が主体となって考え、市と連携して協議を行う。



日本共産党西尾市議団  
牧野 次郎  
議員

### 防災減災で安全安心なまちづくり

**Q** 市内の大規模盛土造成地の状況と安全性はどうか。

**A** 住宅系の大規模盛土造成地は市内で43か所。大雨での危険度の判定ではないが、地盤変形等の危険な造成地はなく、熱海市のような盛土も確認されていない。今後は定期的調査を行い、広報等での注意喚起も図りたい。

**Q** 廃棄物混入等の違法な盛土はないか。また、規制条例の改正をしないか。

**A** 埋め立て等の規制条例で届け出のあった土地も、それ以外の土地も廃棄物混入の情報はない。規制条例に山林を加えることは考えていない。

**Q** 二の沢川の改良事業の計画は。

**A** 上町雨水幹線までの整備で、ポトルネックの宮東橋は、断面積は5倍に広がり、上流域の越水、内水氾濫などの浸水頻度は少なくなる。



詳細は  
スマホで  
チェック!



### ワクチン接種とPCR検査で新型コロナウイルス対策を

**Q** 「いつでも誰でも」PCR検査ができるよう拡充をしないか。

**A** 広くやっただ方が良いと思うが、検査体制が整っておらず現状は難しい。今後、環境が整えば検討する。

**Q** 教職員のワクチン接種状況は。

**A** 遅れているので、調査をするのが優先接種は考えていない。感染者が出た場合のPCR検査は感染防止策で対応できない場合は、学級全体の検査も考える。

### 介護保険見直しによる負担増は

**Q** 施設入所低所得者の補足給付見直しによる負担増分を軽減しないか。

**A** 施設入所の補足給付見直しで低所得層の特養では食費等で年間26万円の負担増。軽減は考えてない。

### その他の質問

・18歳まで医療費無料制度実施は入院だけでなく通院も対象に

## 決算認定

### 令和2年度決算を認定

令和2年度一般会計・特別会計・企業会計の歳入歳出予算の執行実績である決算を、9月13日、14日、15日、16日の4日間にわたり、予算決算委員会各分科会にて審査しました。

慎重審査の結果、全ての会計が適法かつ正当に行われたものであると認定しましたが、ここでは、その審査した内容の一部を紹介します。

#### 厚生分科会

**Q** 子ども学習支援事業の実績はどのようか。

**A** 就学援助受給世帯など生活困窮世帯の中学生を対象に、総合福祉センターで実施している。教員経験者3~4人が常駐し、年間36回開催、述べ302人が参加した。

**Q** 子ども医療費など福祉医療扶助費が減少しているがどのようか。

**A** 前年対比で約1億5千万円減少した。新型コロナウイルス感染症による診療控えが要因と思われる。

**Q** コロナ禍における乳幼児健診や成人健診事業はどのようか。

**A** 乳幼児健診では対象者を4~5グループに分け密にならないよう実施した。成人健診では実施回数を減らすなど約4700万円が不用額となった。

**Q** 国民健康保険でのジェネリック医薬品の使用状況はどのようか。

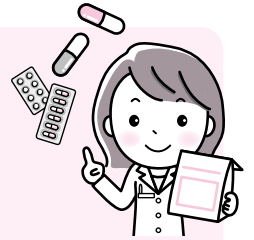
**A** 使用割合は80.7%で西三河9市の中で一番高い割合となっている。

**Q** 令和2年12月に、市民病院に全国初で最新AI搭載のデュアルエネルギーCTを導入したがどのようか。

**A** 心臓の撮影に効果を発揮するもので、時間短縮と鮮明な撮影が可能となり、利用者が増加した。

**Q** 市民病院での約5億1千万のコロナ対策補助金はどのようか。

**A** 患者など入院病床の確保、医療従事者の感染防疫手当て、時間外勤務手当、PCR検査機器、屋外の簡易診察室などに要した。



#### 文教分科会

**Q** 本市は保育士不足と言われているが、状況はどのようか。

**A** 障害児担当、週休対応担当、長時間担当が主に不足している。それに伴い、正規職員がカバーする部分が増え、負担の増加につながっている。

**Q** いじめ・不登校・問題行動の状況はどのようか。

**A** 西尾市いじめ問題対策連絡協議会には地域連携部会と相談活動部会を設け、問題解決への支援を行っている。問題を抱えた児童生徒に寄り添いながら家庭と連携し、少しでも前向きな気持ちでがんばるように指導、支援をしている。

**Q** 生涯学習費の家庭事業のおやじの会応援ルームと放課後子ども教室推進事業の寺子屋にしておの費用配分はどのようか。

**A** 501万7688円のうち、おやじの会応援ルームは17校区の小中学校への業務委託料として114万8857円である。放課後子ども教室推進事業の寺子屋にしておのについては、実行委員会への委託料と指導員に対する謝礼などを合わせて338万2300円である。

**Q** 生涯学習ガイドブックの現状や課題などはどのようか。

**A** 生涯学習講座情報をまとめて掲載して約5万8千部印刷し、広報紙に年4回折り込んで市民に配布している。これまでの紙媒体だけの情報提供にこだわると費用などの面からも現実的ではないと思われるため、先進事例を調査研究し、スポーツや文化を担当する関係課と検討、協議していく。

**Q** 教育費雑入の収入未済額160万2768円の増加の理由は。

**A** 小学校児童給食費と中学校生徒給食費の収入未済額が増加したことによるものである。主な要因は経済的理由によるものが大きいと考えている。

**Q** 出産祝い金支給事業の支給人数の3年間の推移はどのようか。

**A** 平成30年度が1297人、令和元年度が1283人、令和2年度が1216人となっており、減少傾向である。





## 決算認定

### 経済建設分科会

- Q** クリーンセンターに設置したウェブカメラの効果はどのようなか。
- A** 搬入車両の渋滞緩和策を図るもので、総じて搬入者から好評の声をいただいている。
- Q** 企業誘致に係る税収面の効果についてはどのようなか。
- A** この10年間で103社の企業が工場等を立地し、実質19億円の税収面の効果があった。
- Q** 事業モデルチェンジ応援補助事業の主な内容と1件当たりの平均補助金額はどのようなか。
- A** 感染防止のためのアクリル板を始め、オンライン用の機器や、換気装置の購入補助で、平均約13万7千円だった。
- Q** 下水道の企業債に関して、利率の高いものの繰り上げ償還や借り換え等はできないのか。
- A** 借り入れのほとんどが公的機関であり、有利な借り換えができる企業債はなく、繰り上げ償還も将来の利息相当額を保証金として支払う必要があるためメリットはない。

- Q** 緑化推進事業の詳細はどのようなか。
- A** 緑の街並み推進事業の民有地緑化補助金として、空地緑化5件、206万6千円、市民参加緑づくり事業として1件、伊文保育園父母の会によるビオトープ整備300万円である。



- Q** 町内会に係る道路維持管理事業の達成率等の状況はどのようなか。
- A** 平成30年度は64.6%、令和元年度は60.7%、令和2年度は57.6%で、若干下がっている。
- Q** スポーツ推進PR動画作成の詳細はどのようなか。
- A** 「スポーツ都市宣言」のイメージ画像として作成、合併10周年記念用としてホームページ等配信用を作成した。同宣言をした市が、市民、企業と一体となり、スポーツ振興を目指すものである。

### 企画総務分科会

- Q** 行政改革の補助金の見直しと効果はどのようなか。
- A** 165件中、55件を見直し、廃止した。母子寡婦福祉会補助金は検討の結果、令和3年度から段階的に減額し、5年度までに廃止予定である。
- Q** 個人市民税の不納欠損額と収入未済額の人数と金額、一人当たりの最高額、要因はどのようなか。
- A** 不納欠損額は393人で3072万円。1人当たり最高額は513万円。要因は滞納処分の執行停止と消滅時効である。
- Q** 法人市民税の不納欠損額と収入未済額の人数と金額、一社当たりの最高額、要因はどのようなか。
- A** 不納欠損額は15社で163万円。一社当たり最高額は84万円。要因は滞納処分の執行停止と消滅時効である。
- Q** 固定資産税の不納欠損額と収入未済額の人数と金額、一人当たりの最高額、要因はどのようなか。
- A** 不納欠損額は104人で1731万円。1人当たり最高額は298万円。要因は滞納処分の執行停止と消滅時効である。

- Q** 地域防犯パトロール活動の状況はどのようなか。
- A** 市内25小学校区で実施。下校時間帯の午後2時～5時に、通学路を中心に巡回している。令和2年度中の犯罪発生数は770件で過去10年で最小であった。
- Q** 防災倉庫管理事業で備蓄日用品の管理と把握はどのようなか。
- A** 賞味期限をデータ管理し、期限前に自主防災会での防災訓練で使用など、食品ロスの内容に配慮している。おむつや生理用品等の長期備蓄したままの物は今後順次入れ替え、期限前に困窮者世帯へ配布できるよう検討する。



- Q** ハラスメント相談業務の詳細、効果はどのようなか。
- A** 外部事業者に委託し、電話・ウェブで相談窓口を設置するものである。相談件数は、令和2年度10件であった。このうち2件は人事課への報告希望。内容に応じて注意するなどの対応をしている。

## 審議結果

### 01 / 7月臨時会(7月15日)で審議され可決された議案等

条例など	専決処分の承認について
	西尾市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の特例を定める条例の制定について
	新型コロナウイルスワクチンの円滑供給を求める意見書

### 02 / 9月定例会で審議され可決された議案等

☆西尾市教育委員会委員に平岡将暢氏を任命することに同意しました。



条例など	西尾市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について
	市道路線の廃止について
	市道路線の認定について
	令和2年度西尾市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
	定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書
	西尾市一色町生田地区の新規産業廃棄物最終処分場及び焼却施設の建設に反対する決議

補正予算	令和3年度西尾市一般会計補正予算(第4号)
	令和3年度西尾市一般会計補正予算(第5号)
	令和3年度西尾市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
	令和3年度西尾市介護保険特別会計補正予算(第1号)
	令和3年度西尾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
	令和3年度西尾市佐久島診療所事業特別会計補正予算(第1号)

決算	令和2年度西尾市一般会計歳入歳出決算の認定について
	令和2年度西尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和2年度西尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和2年度西尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和2年度西尾市佐久島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和2年度西尾市病院事業会計決算の認定について
	令和2年度西尾市水道事業会計決算の認定について
	令和2年度西尾市下水道事業会計決算の認定について
	令和2年度西尾市渡船事業会計決算の認定について

### 03 / 9月定例会に提出された陳情書

陳情書	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的論議を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	議長預かり
	私立高校生の父母負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために西尾市独自の授業料助成制度の拡充を求める陳情書	趣旨採択
	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	趣旨採択
	「新型コロナウイルスワクチン接種の即時中止を求めます」に関する陳情書	不採択
	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書	採択
	ミャンマー国軍による自国民への弾圧・暴力の即刻停止を日本政府が働きかけるよう求める意見書を西尾市議会から提出することを求める陳情書	不採択

# 審議結果

## 04 / 議員の賛否の分かれた議案

7月臨時会および9月定例会へ提出された議案、陳情のうち、賛否が分かれたものについて掲載します。

議案名	議決結果	党派・議員名・表決態度																											
		新政令和					新しい風					西尾みらい			自民隆盛会		共産党		公明党		無所属								
		神谷庄二	鈴木正章	稲垣一夫	松井晋一郎	渡辺信行	本郷照代	青山勝博	犬飼直行	中根志信	中根文彦	小林孝幸	福西章人	牧一心	磯部雅弘	藤井基夫	黒辺一彦	山本道代	永山英人	神谷雅章	松崎隆治	牧野次郎	前田修	大河内博之	大塚久美子	筒井登	鈴木規子	中村眞一	佐々木映美
新型コロナウイルスワクチンの円滑供給を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西尾市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の特例を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
私立高校生の父母負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために西尾市独自の授業料助成制度の拡充を求める陳情書	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	趣旨	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ミャンマー国軍による自国民への弾圧・暴力の即刻停止を日本政府が働きかけるよう求める意見書を西尾市議会から提出することを求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西尾市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度西尾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度西尾市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度西尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度西尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度西尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西尾市一色町生田地区の新規産業廃棄物最終処分場及び焼却施設の建設に反対する決議	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

「○」…賛成(採択) 「×」…反対(不採択) 「趣旨」…趣旨採択 「※」…議長のため採決に加わりません。

### 西尾市 PFI問題対策特別委員会を設置しました

◎委員長  
○副委員長

- ◎神谷 庄二      ○前田 修      牧 一心      中根 志信      黒辺 一彦      磯部 雅弘  
 大塚久美子      松井晋一郎      永山 英人      鈴木 正章      中村 眞一      鈴木 規子  
 筒井 登      オブザーバー： 神谷 雅章      大河内博之

### 広報委員会の新メンバーです



### 「西尾市一色町生田地区の新規産業廃棄物最終処分場及び焼却施設の建設に反対する決議文」を市長へ提出



9月29日の議決を受け、「市議会が市民の意思を反映し、新規産業廃棄物最終処分場及び焼却施設の建設に反対する意思表示をしたことをしっかりと受け止め、適切な対応を強く求める」決議文を市長へ手渡しました。

中村市長へ決議文を手渡す神谷議長と大河内副議長

※一般質問の記事については、質問議員から提出された原稿をもとに作成しています。

西尾市議会 広報委員会

電話 65-2182  
FAX 54-0311

- ◎大河内博之      ○山本道代  
 杉浦功記      牧 一心  
 中村直行      青山 繁  
 本郷 照代      松井晋一郎  
 前田 修      永山 英人  
 (◎委員長      ○副委員長)

#### 広報委員

日頃より、「にしお市議会だより」をご覧いただき感謝申し上げます。

令和3年6月に西尾市議会議員一般選挙が行われ、7月の臨時会において議会人事が刷新されました。市民の皆様が刷新された選挙後初の9月議会においては、一般質問に24人が登壇し、コロナ関連やPFI問題の早期解決についての質問の他にも土砂災害や防災への取り組み、経済の活性化、学生や若者への支援策、障害福祉の問題、LGBTQへの理解、産廃問題など多岐にわたる質問がされました。市民の皆様との身近な存在として、今後とも皆様とわかりやすい議会だよりをお届けできますよう委員一同、努めて参りますので、よろしくお願いたします。

編集室 No.144

## お知らせ

### 次回12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/21	22 議会運営 委員会	23 勤労感謝 の日	24	25	26	27
28	29	30 本会議 予算決算 委員会	12/1 本会議	2 本会議	3 本会議 (予備日)	4
5	6	7 文 教 委員会 ・分科会	8 厚 生 委員会 ・分科会	9 経済建設 委員会 ・分科会	10 企画総務 委員会 ・分科会	11
12	13	14 予算決算 委員会	15 議会運営 委員会	16	17	18
19	20 本会議	21	22	23	24	25

会議は通常 10 時開会です。  
※予定は変更になる場合があります。

### 議場見学をしませんか？

町内会などの行事、ご家族、ご友人同士  
でお誘いあわせの上、お気軽にお越しくだ  
さい。詳しくは、議会事務局 (Tel.65-2182)  
へお問い合わせください。



### 議会を見る

#### 放送チャンネル

ケーブルテレビ「キャッチネットワーク」  
地上デジタル 11ch

#### 日時

12月 3日 (金) (12月1日一般質問)  
12月 9日 (木) (12月2日一般質問)  
12月22日 (水) (12月3日予備日)  
※いずれも18時から放送します。

#### インターネットで議会をしてみよう

西尾市ホームページまたは  
右記QRコードからアクセス  
できます。



### 議会を聴く

西尾市議会は、『開かれた議会』を目指し、議会を公開していま  
す。傍聴をご希望の方は、議会開催日に議会事務局(6階)までお  
越しください。

- ・議場での傍聴………本会議
- ・委員会室での傍聴…常任委員会、議会運営委員会、  
特別委員会、全員協議会、部会

### 表紙に掲載する写真を募集します

「にしお市議会だより」は市民の皆さまにより身近に感じていただくため、表紙に掲載する写真を募集します。  
テーマは「あなたが好きな西尾のこんなところ」です。撮影された方のお名前・作品タイトルなどを裏表紙で紹介  
させていただきます。応募にかかる詳細については、議会事務局 (Tel.65-2182) にお問い合わせください。  
次号は、あなたの写真が表紙を飾るかもしれません。ぜひご応募ください。